



国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

2024年8月5日

令和6（2024）年度 第2回定例記者会見開催のお知らせ

日時：2024年8月8日（木）10:30～12:00

場所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室

※今回から、YouTubeでのライブ配信は行いません。

<記者会見項目>

- ① 令和6年度「大学・高専機能強化支援事業」に選定されました（別紙1）
～実践的かつ即戦力となる高度情報・半導体専門人材の育成～
【学長代行 若原 昭浩】
- ② スタートアップ推進室の設置（別紙2）
～方針と今後の活動に関して～
 - 1）スタートアップ助成制度
 - 2）親子ロボット工作教室
 - 3）高専生体験実習オプションプログラム【学長代行 若原 昭浩／研究推進アドミニストレーションセンター 特定准教授 土谷 徹、客員准教授 川上 重信】
- ③ 学生起業 合同会社 Z2A の設立（別紙3）
～Web3.0時代を牽引する企業を目指して～
【情報・知能工学専攻 博士前期課程1年 大野 裕之】
- ④ ダイバーシティ推進センターの活動報告（別紙4）
☆活動報告及びイベント案内
【ダイバーシティ推進センター 副センター長 沼野 利佳】
- ⑤ 技科大のロボット技術を一挙公開！（別紙5）
～技科大のロボット関連の研究室を一挙公開します～
【次世代半導体・センサ科学研究所 人間・ロボット共生分野】
- ⑥ オープンキャンパス2024を開催します！（別紙6）
【広報戦略本部】

<本件連絡先>

総務課広報係 岡崎・宮田

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509

国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2024年8月5日

令和6年度「大学・高専機能強化支援事業」に選定されました
～実践的かつ即戦力となる高度情報・半導体専門人材の育成～**<概要>**

豊橋技術科学大学は独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が公募した「令和6年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」に申請（支援2：大学（一般枠））し、採択されました。（事業期間：令和6年度～15年度）

<詳細>

本事業は、大学等に対し、デジタル・グリーン等の成長分野の学部等の設置等に必要な資金に充てるための助成金を交付することにより、全国各地における当該成長分野の学部等の設置等を促進することを目的とした助成事業です。

社会的課題になっているデジタル人材及び半導体人材の不足を解消するため、本学の強みでもある AI、センサ、ロボット、半導体分野の教育研究を分野融合、複合領域の課題に対応できるよう、大学院博士前期課程『電気・電子情報工学専攻』及び『情報・智能工学専攻』の募集定員を合計 27 名増員し、学部において工学の基礎を学び素養を身に付けた学生に対し、数理データサイエンス、半導体センサ関連技術を農業、エネルギー、化学、健康、環境などの社会要請に応じた課題を解決する実践的・高度情報・半導体専門人材を輩出する体制を強化するものです。

<今後の展望>

実務家教員の採用や産業界との連携による産学共創教育により、本事業期間内に 1,000 人の実践的・高度情報専門人材及び 350 人の実践的・高度半導体専門人材の輩出を目指します。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・宮田

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

事業計画名 実践的高度情報・半導体専門人材の育成を目的とした豊橋技術科学大学大学院博士前期課程の定員増による大学機能強化

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員
所在地	愛知県豊橋市
増員する情報系組織名(修士)	電気・電子情報工学専攻、情報・知能工学専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	電気・電子情報工学専攻:12名(R7)、 情報・知能工学専攻:15名(R7)

- <社会や地域のニーズ・課題>
- 「あいちデジタル人材育成支援アクションプラン」において、愛知県のデジタル人材の不足分7.2万人の7%である約5,000人程度を大学卒業生により確保する必要に対して、本事業期間内に**本学から約1,000人の実践的高度情報専門人材の輩出**
 - 電子情報技術産業協会の試算による中部地方における6,000人の半導体人材不足に対して、「中部地域半導体人材育成等連絡協議会」に加盟する各大学等と協力し、本事業期間内において**本学から約350人の実践的高度半導体専門人材の輩出**
 - 情報/半導体/センサ工学の分野は従来の専門分野単独では実現することが困難で、数理・データサイエンスに加え、横断的な知識・技術が必要

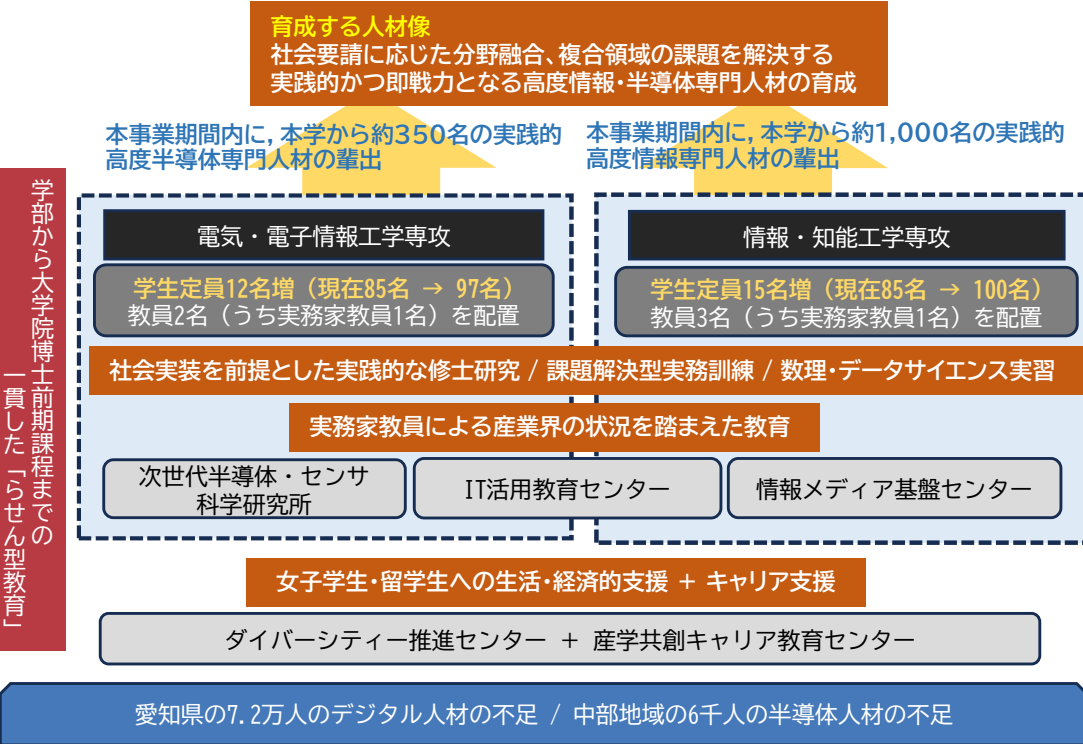
<研究科等の体制強化の概要・特徴など>

大学院博士前期課程	入学定員数		
	現在	変更	増員
情報・知能工学	85	100	15
電気・電子情報工学	85	97	12

- 本学の強みであるAI、ロボット等の情報技術により**社会要請に応じた分野融合、複合領域の課題を解決する実践的かつ即戦力となる高度情報専門人材の育成**
- 本学の強みである半導体センサ関連分野技術により**社会要請に応じた分野融合、複合領域の課題を解決する実践的かつ即戦力となる高度半導体専門人材の育成**
- 大学全体のデジタル化、DX等の教育研究の高度化の実現のために企業等からの**実務家を含む5名の教員を雇用**

- <育成する人材像・教育内容>
- **育成する人材像**
社会要請に応じた分野融合、複合領域の課題を解決する**実践的かつ即戦力となる情報・半導体人材の育成**
 - **教育内容**
学部から博士前期課程までの一貫した**技術科学教育システム「らせん型教育」**を再構築し、博士前期課程では**課題解決型実務訓練**、博士後期課程においても実務訓練を実施し、**実践的技術感覚の体得、実践的課題解決能力並びに企画力、創造力の育成**

- <高専・自治体・企業・初中段階等との連携>
- 高専との接続性のあるカリキュラムを整備しており、高専専攻科との連携プログラムによる**博士前期課程までの高専教員との協働指導による「即戦力、実践型の技術者・研究者」の育成**
 - 愛知県、東三河県庁、豊橋市、静岡県湖西市等と包括連携協定**により、地域企業等への就職支援、実務訓練における地域企業への学生受入、自治体・企業との共同研究への学生の参画を拡充し、**社会実装を前提とした実践的な学修・研究活動の実施**
 - 地域自治体の小中学校の理科教諭との情報交換を進めており、**教員・大学院学生の派遣により、小中学生の「理科離れ」対策を強化**する計画
- <女子学生、留学生、社会人学生等の確保>
- **女子学生及び留学生**
 - **学生宿舎等の施設整備による女子学生・留学生の入居可能室数を増加**と「ダイバーシティ推進センター」・新設の「産学共創キャリア教育センター」との連携による**大学院進学を支援**
 - **協定外国大学とダブルディグリー・プログラムを新設**し更に多くの外国人留学生の受け入れ
 - **社会人学生**
 - 出願要件の緩和と長期履修制度の導入により、修了までの**十分な学修・研究時間を確保**
 - 更にリスキリングを含む社会の要請への対応



事業創設の背景

- ・デジタル化の加速度的な進展や脱炭素が世界的な潮流は、労働需要の在り方にも根源的な変化をもたらすと予想。
- ・デジタル・グリーン等の成長分野を担うのは理系人材であるが、日本は理系を専攻する学生割合が諸外国に比べて低い。

※ 理系学部 of 学位取得者割合

【国際比較】 日本 35%、仏 31%、米 38%、韓 42%、独 42%、英 45%

【国内比較】 国立大学 57%、公立大学 43%、私立大学 29%

（注）「理・工・農・医・歯・薬・保健」及びこれらの学際的なものについて「その他」区分のうち推計

- ・デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向けて、意欲ある大学・高専が成長分野への学部転換等の改革を行うためには、大学・高専が予見可能性をもって取り組めるよう、基金を創設し、安定的で機動的かつ継続的な支援を行う。

支援の内容

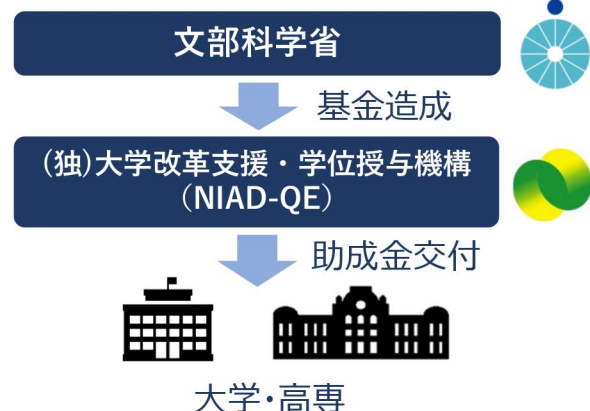
① 学部再編等による特定成長分野（デジタル・グリーン等）への転換等（支援1）

- 支援対象：私立・公立の大学の学部・学科（理工農の学位分野が対象）
- 支援内容：学部再編等に必要な経費（検討・準備段階から完成年度まで）
定率補助・20億円程度まで、原則8年以内（最長10年）支援
- 受付期間：令和14年度まで

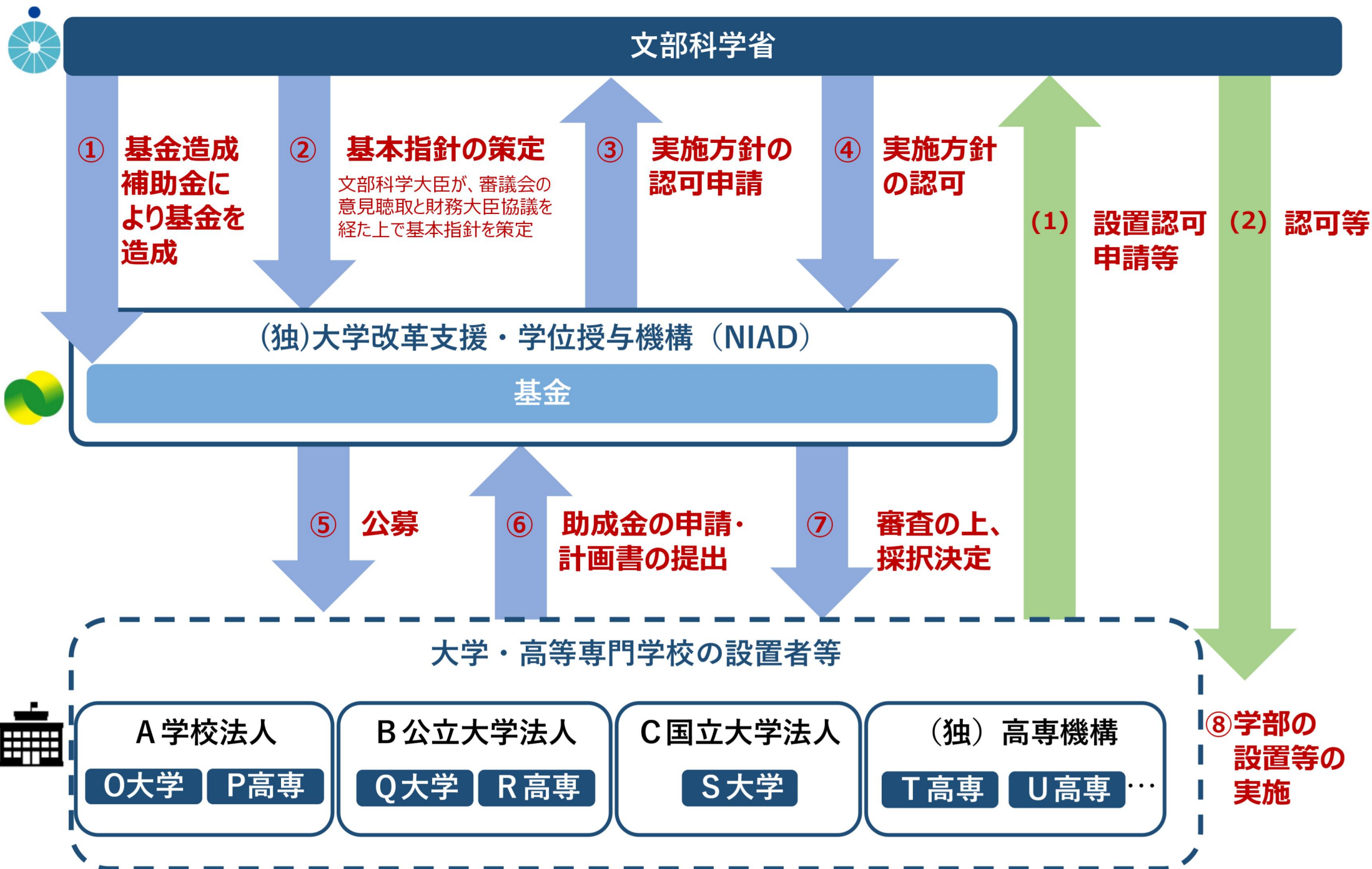
② 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化（支援2）

- 支援対象：国公私立の大学・高専（情報系分野が対象。大学院段階の取組を必須）
- 支援内容：大学の学部・研究科の定員増等に伴う体制強化、
高専の学科・コースの新設・拡充に必要な経費
定額補助・10億円程度まで、最長10年支援
※ハイレベル枠（規模や質の観点から極めて効果が見込まれる）は20億円程度まで支援
- 受付期間：原則令和7年度まで

【事業スキーム】



助成業務の実施スキーム



一. 中長期的な人材育成の観点から特に学部設置等の支援が必要と認められる分野（特定成長分野）

特定成長分野は、

- ・ 政府全体の戦略・方針 (科技イノベーション基本計画等) に掲げられている デジタル・グリーンを中心とした成長分野 であり、
- ・ 学位分野としての 理学関係・工学関係・農学関係分野 (いずれかの学位分野を含む融合分野も可) とする。

二. 選定方法に関する基本的な事項 ※詳細は基本指針に即して機構が設定

- 機構は、大学（学部・大学院を置くもの）・高専に対し、以下の助成を実施

支援 1 : 学部再編等による特定成長分野への転換等支援（対象：私立・公立の大学の学部・学科）

支援 2 : 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化支援（対象：国公立の大学（大学院段階の取組を必須）・高専）

受付期間 令和14年度までに集中的に受け付け（支援 2 は令和 7 年度までを基本）

選定方法 資格要件 : 修学支援新制度の機関要件と同様の財務状況や収容定員充足率、
社会における具体的な人材ニーズ等

審査の観点 : 学生数拡充、学生確保の見通し、企業・自治体等との連携、初中段階との連携、女子学生確保等

- 国際卓越研究大学に認定された場合、大学ファンドと併せての受給は不可（基金への申請は可）

※先行して機構から助成を受けた場合、交付対象となった計画を履行

- 支援 2 に伴う国立大学・高専の学部・学科の定員増について、一定の猶予期間内に他学部等の定員を中心に縮減する特例的扱い

- 適切に機構の実施体制を整備（外部意見を反映できるものとなるよう留意）

三. 交付方法に関する基本的な事項 ※詳細は基本指針に即して機構が設定

- 支援区分ごとの対象とする取組の性質、計画の内容等に応じ、最長10年間の支援

支援 1 : 検討・準備段階から完成年度までを支援（施設設備整備費等の初期投資を中心）
定率補助・20億円程度まで（早期実施、総定員の増加を伴わない取組を優遇）

支援 2 : 大学院・学部段階の機能強化の取組を長期支援（施設設備整備費、人件費等）
定額補助・10億円程度まで（大学院段階の定員増等による体制強化を原則）

※原則として大学院段階の取組を必須とするが、学部段階の取組を先行させることも可能

※規模や質の観点から極めて高い効果が見込まれると評価される計画を有する一定数（5件程度）の大学に限り、さらに一定額（最大10億円）を加算することも可能

- 機構において助成業務の効果を測定、公表するとともに、各大学・高専の相互の連携等を促進



大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針【概要】

一．助成金の交付対象の選定方法

○支援の概要

機構は、大学（学部・大学院を置くもの）・高専に対し、以下の助成を実施

支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援（対象：私立・公立の大学の学部・学科）

支援 2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援（対象：国公立の大学（大学院段階の取組を必須）・高専）

選定手順

機構は外部の有識者により構成される選定委員会を設置し、同委員会からの報告を踏まえ、助成事業の対象となる大学・高専を選定するものとする。

	資格要件	審査の観点
支援 1	・ 入学定員が 20名以上 増加する計画であること ・ 総収容定員充足率が設置認可申請等までに一定の水準を満たす計画であること 等	・ 大学の規模等に照らして、大きな転換を図る取組であるか 等
支援 2 (大学)	・ 既設の情報系分野に係る研究科等を有すること ・ 修士課程 15名以上 または博士課程 5名以上 の増員を行う計画であること 等	・ 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか 等
	【最大10億円の加算を希望する場合】 ①国際的に活躍できるトップレベルの人材の輩出、②自大学の教育高度化や定員の大幅な拡充を図るのみならず、他大学・高専の学生も広く参加可能な優れた情報教育プログラムを展開、③地域や国の産業戦略と連携し企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出する取組のいずれかを含む計画であること	・ 広く企業や自治体と連携し、企業や自体が求める人材ニーズに的確に応える計画になっているか ・ 実務家教員の派遣、インターンシップ、共同研究を実施する計画か 等
支援 2 (高専)	・ 学科・コース等において 20名以上 の増員を行う計画であること 等	・ 他の大学・高専等と連携する計画か 等

二．助成金の交付方法

○助成対象経費の範囲

支援 1：人件費（教員人件費を含まない。）、施設設備整備費、建物取得費、委託・外注費等

支援 2：人件費（教員人件費を含む。）、施設設備整備費、建物取得費、委託・外注費等

三．業務の実施体制 その他の事項

○選定した大学・高専に対するフォローアップ

・大学・高専から、実績報告書を毎年度提出させ、必要があるときは進捗状況に関する報告を求め、又はその状況を調査する。

・原則、毎年度一回会議を開催し、選定された大学による意見交換や情報交換の機会を設け、相互の連携等の促進を図る。

○助成事業の効果の測定、公表

助成金の交付の対象となった大学・高専における取組の実施状況等を把握するとともに、必要に応じて取組の効果을適切に測定し、その結果をホームページ等で公表する。



2024 年 8 月 5 日

スタートアップ推進室の設置

～方針と今後の活動に関して～

<概要>

本学はこれまで、Tongali(Tokai Network for Global Leading Innovation)に参画し、様々な活動を行ってきましたが、この度、スタートアップ支援とアントレプレナーシップ教育を一体的に取り組み、活動を活性化させるため、2024 年 8 月 1 日に新たにスタートアップ推進室を設置しました。

2022 年 1 月 4 日に岸田首相が「スタートアップ元年」を宣言以降、国家予算を投入し、その重要性は益々高まっています。その中で本学は、これまでの成果と大学の強みである産学連携や共創により、スタートアップ活動を通して未来を創造し不安定な時代を切り拓く人材の育成に力を入れていきます。

<詳細>

新たに設置した「スタートアップ推進室」においては、社会実装を目指したスタートアップ活動やアントレプレナーシップ教育を通し、

- ◆ スタートアップ・エコシステムの構築
- ◆ 未来を創造し時代を切り拓く学生の育成
- ◆ 学生の新たなキャリア形成支援

を目的とし、起業のみならず、民間企業などにおいても時代を超える産業や事業創出に向けて取り組む学生の育成にも力を入れていきます。

産学共創など、地域一体となって新規事業やスタートアップの創出、研究・技術シーズの社会実装に向けた体制・基盤作りに邁進し、「できない」と思っていた創造の世界を、人とテクノロジーを集結させることで実現するようなマインドも創り上げたいと考えています。

また、本推進室には学生部会も設置します。学生をはじめとする若年層と交流し様々な問題の解決、時には支援活動を行うようなコミュニティの構築も検討しています。特に、高専生の主たる受入校である本学には、悩める高専生からの声も多数聞こえてきています。体制などの詳細は、本学高専連携地方創生機構と協議し、学生たちとも検討を重ね、構築する予定です。

<今後の展望>

今後は、芸術系大学との連携を積極的に進め、未来創造力やアイデア創造力を深化させ、新たなテクノロジーで課題解決を行うビジネスアイデアを生み出します。そして、研究シーズを社会実装することで「スタートアップ・エコシステム」の構築に貢献します。

スタートアップ助成制度

～外部機関との共創により、技術・研究シーズを社会実装に繋げる～

＜概要＞

スタートアップ推進室の取り組みとして、スタートアップ助成制度を展開します。本制度は、技術・研究シーズの社会実装に向けて、特に、学外の機関（金融機関、民間企業、自治体、他の教育研究機関等）との連携・共創を必須とすることを特徴としています。学内の研究者や学生が、外部機関を巻き込み、双方の知見やリソースを活用して社会実装していく活動を支援する制度です。

＜詳細＞

本学では過去から様々な研究成果を世の中に実装し、産業の発展に寄与してきました。また、アントレプレナーシップ教育を推進し、課題発見力の強化やマインド醸成を図ってきました。このような背景をもとに、さらにスタートアップ活動を強化すべく、外部機関との共創を企図したスタートアップ助成制度を展開します。

本制度では、学内研究者や学生から優れた提案を公募します。応募要件として、大学外の機関や組織との連携・共創を必須としており、既に連携先がある場合だけでなく、本制度を活用して連携先を見つけることもできます。応募に対して、二次選考では、簡易プレゼンによるコンペ形式での選考を行います。

助成制度としては、選考後、令和7年9月の助成活動報告会までの間に、助成金の他に、フォローアップメンタリングで伴走し、例えば、教員の場合はイノベーションジャパンや新技術説明会、学生の場合は Tongali ビジネスプランコンテスト等への積極的な挑戦を促し、事業性やビジネスプラン、および成果物の発信・検証を行います。

＜金融機関、企業、自治体の皆様へ＞

10月末から11月上旬に実施する上述の二次選考には、金融機関や企業、自治体など学外の方々にも聴講いただきます。プレゼンを聴いていただき、社会実装に向けた課題発見や課題解決に連携いただける外部機関を歓迎いたしますので、たくさんのお問い合わせをお待ちしております。

親子ロボット工作教室

～創造力を養い、モノづくりの楽しさを学ぶ～

<概要>

本学は、ロボコン同好会の活躍がめざましいですが、近年の取り組みの中で小学生や中学生の中でもロボット作りに興味のある子どもたちが数多くいることがわかりました。

そこで我々は、創造力を養い、モノづくりの楽しさを学んでいただきたく、「親子ロボット教室」を昨年度から開催しており、今年度も同様に、小中学生のみならず親子でご参加いただけます。

今年度は、8月17日(土)に豊橋駅前の emCAMPUS で作品交流会とミニコンテストを開催します。様々なアイデアを盛り込んだ作品の数々は勿論ですが、親子共々楽しく充実感のある時間を過ごす様子を是非、見にきてください。

<詳細>

今年のテーマは「ゴミの分別・回収」です。

ゴミの内訳は、クリップ大小3種、わたクズ、紙クズ、木クズ、スチロール、紙紐クズになり、この中からクリップ(金属)とそれ以外を分別回収し、ゴミ箱に捨てます。



動力源は、モーター3個のみ、それ以外は段ボールなどを加工し、製作します。動力源はモーターしかないので、「どのように何を動かすか」「どのように分別するか」がポイントとなります。

本企画は、emCAMPUS STUDIO との共催、株式会社ヒミカと有楽製菓株式会社の協賛で実施します。各賞の他、ご協力いただく企業からの副賞・サポート企業賞を準備しています。

<今後の展望>

来年度以降も継続して開催する予定です。

summer

親子 ロボット 工作教室

夏休みの自由研究にも
お役立てください！

小中学生のお子様とその親御さん向けのロボット工作イベントです。
初日には、ロボット製作のレクチャーもありますので、
ロボット製作が初めてという方でも、安心してご参加いただけます。
2日めには、作品交流会を兼ねたミニコンテストを開催します！

2024年7月6日（土）
2024年8月17日（土）

時間 13:00 - 15:30
場所 emCAMPUS STUDIO

参加費無料！

小中学生のお子様と
その保護者の方
定員：20組

※定員になり次第、
締め切りとなります

大賞賞品
あり！

※写真はイメージです

【お問い合わせ先】

emCAMPUS STUDIO

TEL 0532-57-5016

営業時間 平日 9:00 ~ 21:00 / 土曜 9:00 ~ 18:00

定休日 日曜・祝日・年末年始・その他施設が定める日

お申し込みはこちらから！
締め切り：2024年6月22日（土）



スケジュール

※プログラムの内容は変更となる場合がございます

1日め

7月6日(土) 親子ロボット教室

(受付開始：12:30)

13:00 開会

13:20 ロボット組み立て教室

14:20 テーマ・ルール発表

オリジナルロボット作り検討開始

15:30 閉会

2日め

8月17日(土) 作品交流会 & ミニコンテスト

(受付開始：12:30)

13:00 開会

13:20 作品交流会スタート

14:30 表彰、記念品授与、記念撮影

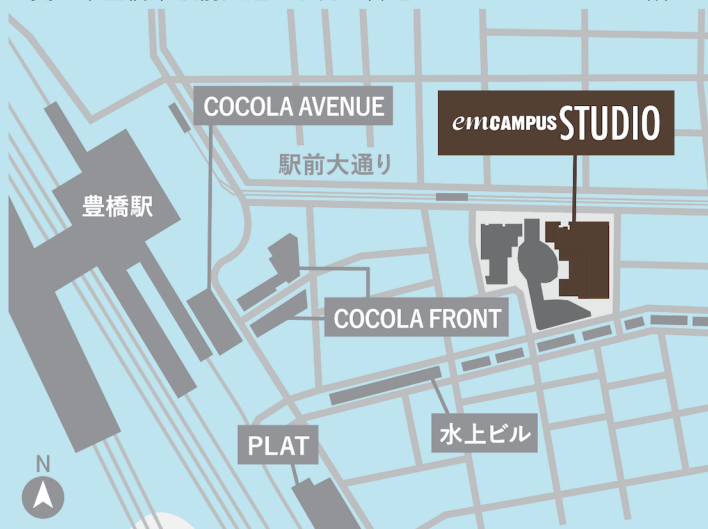
★7月6日～8月17日までの約1ヶ月間、親子で知恵を絞り、アイデアを出し合い、オリジナルロボットを製作します

★製作したオリジナルロボットの動画を撮影し、動画を事務局に送付いただきます

★事務局・審査員は、参加者より提出のあった動画について（プレ）審査を行います

会場アクセス

愛知県豊橋市駅前大通二丁目81番地 emCAMPUS EAST 5階



emCAMPUS STUDIO フロアマップ



全館禁煙



全館Wi-Fi完備

電車



JR 東海道本線・飯田線、東海道新幹線、
名鉄本線「豊橋」駅東口 徒歩約6分
豊鉄渥美線「新豊橋」駅徒歩約5分

バス



豊鉄バス各線「駅前大通」バス停 徒歩約1分
路面電車市内線「駅前大通」駅 徒歩約2分

自動車



emCAMPUSは駐車場のご用意がございません。
お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。
※ 豊橋まちなか駐車場、パーク500が直結しております。(有料)

主催



技術を究め、技術を創る
国立大学法人
豊橋技術科学大学

sala サラグループ
株式会社エムキャンパス

高専生体験実習オプションプログラム

～高専生への実践的アントレプレナーシップ教育の提供を！～

<概要>

本学で毎年実施している高専生体験実習のオプションプログラムとして、実践的アントレプレナーシップ教育プログラムを提供することになりました。

全国各高専においても基礎的なアントレプレナーシップ教育は実施していますが、進学候補先の1つである本学でどのような取り組みをしているのか体験していただきます。

<詳細>

高専生に提供するプログラムは次のとおりです。

- ◆ 8月25日(日) スタートアップに必要な妄想力・創造力・探究心を考える
- ◆ 8月31日(土) ビジネスプランコンテスト受賞例からの学びと体験教室
- ◆ 9月1日(日) 自己理解とビジネスゲームからスタートアップの基礎を学ぶ
- ◆ 9月7日・8日 世界を変える起業家やアーティストの発想法を体験しよう

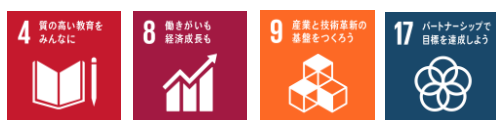
それぞれ特徴のあるプログラムになりますが、特に8月31日と9月7、8日は、これまでにない特徴的なプログラムになります。

8月31日は、今年のTongali ビジネスプランコンテストの受賞例を紐解き、社会課題(食料自給率、糖尿病)を扱うことより、より大きなビジネスに繋がり、かつ、多くの人の役に立つビジネスになることを事例として知っていただきます。また、ここでターゲットとしている大豆を用いた醤油・味噌の醸造先を訪問、体験することによる気づきについても考えていただきます。

9月7、8日は、愛知県立芸術大学の春田准教授を招き、アーティストの世界における発想法を体験してもらいます。高専・技科大と真逆のスキルを持つ芸大との共創・共修による可能性についても考えていただける良い機会となると考えています。

<今後の展望>

来年度は、上記を正規のプログラムとして実施予定です。



本件に関する連絡先
 広報担当：総務課広報係 岡崎・宮田
 TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

申込締切 8月8日
※定員になり次第締切

豊橋技術科学大学 アントレプレナーシップ教育推進室提供

体験実習オプションプログラム



開催日:8/25(日)、8/31(土)、9/1(日)、9/7(土)、9/8(日)

参加対象者

全国の高専生、大学生

実施場所

豊橋駅前会議室

●参加条件:スタートアップやアントレプレナーシップに興味のある方、新しい事業や価値の創出に興味のある方は大歓迎です! これからの時代に必要となる新しい学びの体験をしてみませんか!!

●定員:各コース30名(最少催行人数3名)

●参加費:無料

●本講座参加のための補助:追加となる宿泊料金はこちらで負担・手配致します

主催:国立大学法人豊橋技術科学大学 アントレプレナーシップ教育推進室

お問い合わせ:担当 土谷、柴崎

entre-office@rac.tut.ac.jp

<https://www.siva.tut.ac.jp>



体験実習オプションプログラム

A	8月25日(日) 10:00～15:00	講師:豊橋技術科学大学 特定准教授 土谷 徹 「スタートアップに必要な妄想力・創造力・探究心を考える」
	会場①	午前は世界の歴史から創造力や妄想力の重要性について学び、 午後は先進科学工作によりナノの世界を体験し、自己の探求心 について考え、議論してみましょう！
B	8月31日(土) 10:00～17:00	講師:豊橋技術科学大学 特定准教授 土谷 徹 「ビジネスプランコンテスト受賞例からの学びと体験教室」
	会場①	社会問題から掘り下げ、幸せな未来社会・生活を目指したビジ ネスプランからの学びと、現場である大豆加工品(しょうゆ、み そ)の醸造元での体験教室を通して、未来の食糧問題について 考えてみましょう！ 技科大生がプレゼンします！！
C	9月1日(日) 10:00～17:00	講師:株式会社MeCoFa 代表取締役社長 川上 重信 「自己理解とビジネスゲームからスタートアップの基礎を学ぶ」
	会場①	豊橋技術科学大学のアントレプレナーシップ教育のほんの一端 ですが、楽しいワークやゲームを通して学びの場を体験してい ただきます。初めて会った人とでもチームを作れるコミュ力が得 られるのも大きな特徴です。
D	9月7日(土) 9月8日(日) 10:00～17:00	講師:愛知県立芸術大学 准教授 春田 登紀雄 愛知県立芸術大学流 アイデア創造演習 I・II 「世界を変える起業家やアーティストの発想法を体験しよう！」
	9/7:会場② 9/8:会場①	愛知県立芸術大学の春田先生をお招きし、創造的な自分と出 会い、より良いサービスづくりを体験してもらいます。 ※芸大生、技科大生と一緒に取り組んでみましょう！

<会場①>

豊橋市駅前大通1-46-1 豊鉄ターミナルビル9階 展望会議室

<会場②>

豊橋市駅前大通2-81 emCAMPUS EAST 5階 ROOM# 1

【お問い合わせ先】

entre-office@rac.tut.ac.jp 担当:土谷、柴崎





2024年8月5日

【学生起業】合同会社 Z2A の設立

～Web3.0 時代を牽引する企業を目指して～

<概要>

豊橋技術科学大学の卒業生及び在学生らで、2024 年 3 月にブロックチェーンを用いたサービスの企画・開発を行う会社「合同会社 Z2A（ジートゥーエー）」を設立しました。本学で学んだ技術的知識やアントレプレナーシップで得た経験をもとに、あらゆる分野のビジネスにおける IT 活用や、自社サービスの開発・普及を目指していきます。

<詳細>**【Web3.0 について】**

新たなインターネットの時代として「Web3.0」という言葉が注目されるようになりました。これは後述するブロックチェーン技術によって実現される、新たなインターネット社会のことを指します。現在は、Google の検索サイトや SNS などを利用する際にはアカウント登録が必要で、個人情報をはじめとする様々なデータが特定の組織に管理されています。このインターネットの形態を中央集権的ネットワークと言います。これに対し、ブロックチェーンによる分散型ネットワークでは各個人がデータを管理し、中央管理者を介さないユーザー間のやり取りを行えるようになります。また、データを分散化することで情報漏洩やデータ改ざんのリスクを解消するといったセキュリティ上のメリットもあります。

【ブロックチェーンとは】

上記で述べた通り、ブロックチェーンは情報を記録するネットワーク技術の 1 つです。これによりデータの改ざん・漏洩が不可能になります。電子マネーにおいて金融機関等を介さずに通貨のやり取りを実現させる技術として 2008 年に広まりました。ビットコインのような仮想通貨にも利用されています。

【実際のサービス・事例】**・オープンバッジ**

オープンバッジは知識やスキルをデジタル上で証明するサービスです。大学や資格認定団体、企業が多くオープンバッジを発行しており、日本でも様々な団体からの発行が始まりました。本学でも特定の履修コースを修了した際に、その証明としてバッジが学生に配布されています。ブロックチェーン技術を取り入れており、実質的に偽造・改ざんが不可能になっています。

大野 裕之様

国立大学法人豊橋技術科学大学からのオープン
バッジ発行が完了しました。

当メールは、国立大学法人豊橋技術科学大学か
らの
オープンバッジ授与に関するお知らせをするも
のです。



GIKADAI数理・データサイエンス・AI教育プロ
グラム リテラシーレベル プラス

<起業した背景>

今年3月に豊橋技術科学大学の在学生と卒業生の2人で創業しました。代表の大野は本学でロボコンを経験した際に、テクノロジーが人の感情や社会に影響を与えることに感動を覚え、開発したプロダクトやサービスを世に広めることに挑戦したいと思うようになりました。そこでAIベンチャーの起業や外部のアントレプレナーシップなどに関わるようになり、昨年同じ目的を持った同級生と協力して実際に会社を立ち上げました。開発経験としてはAIが主ですが、会社を始める上でその次に世に広まるであろうテクノロジーに着目しようと考え、ブロックチェーンを事業に取り入れました。

<今後の展望>

現在はブロックチェーンを用いた業務管理ツールの開発や、その他AIやデータベース関連のシステム開発を行っています。次年度以降は特にブロックチェーンを用いた自社サービス開発に注力していき、世に広めていきたいと考えています。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・宮田

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509



2024年8月5日

ダイバーシティ推進センターの活動報告 ☆活動報告及びイベント案内

〈活動報告及びイベントのご案内〉

(1) 川柳コンテスト（報告）

角田範義 審査委員長（副学長 ダイバーシティ担当）のもと、教職員・学生で構成された審査委員会にて厳正なる審査を行い、応募作品 123 句の中から入賞作品を決定しました。

(2) 女性のための管理職座談会（報告）

テーマ：「自分らしく柔軟に、一歩その先へ」

(3) シンポジウム 9 月 26 日（火）（開催予定）

テーマ：「工学分野のジェンダー平等に向けて

～ジェンダード・イノベーションやフェムテック教育・研究の展開～」

意見交換会：13 時 15 分～13 時 50 分（学生ホール）

講演会：14 時 00 分～15 時 50 分（A-114 講義室とオンライン）

(3) について、当日取材も受け付けますので、ご要望等ありましたら事前にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

本件に関する連絡先

担当：ダイバーシティ推進センター事務局 森田・松原・梅藤

TEL:0532-44-6502

<https://equal.tut.ac.jp/>

広報担当：総務課広報係 岡崎・宮田 TEL:0532-44-6506





国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

2024年8月5日

技科大のロボット技術を一挙公開！ ～技科大のロボット関連の研究室を一般公開します～

<概要>

豊橋技術科学大学では、2023年4月から次世代半導体・センサ科学研究所（IRES²）社会実装部門の**人間・ロボット共生分野**において、次世代ロボット技術開発とロボット技術の社会実装を進めています。本学のロボット関連技術全体を気軽に見ていただける機会として、昨年に引き続き、研究室の一般公開を実施することとしました。地域の企業、自治体の方々やご興味のある方にぜひご来場いただければと存じます。

<日程・スケジュール>

日時：2024年9月18日（水）13:00～16:00

会場：豊橋技術科学大学

◆開会挨拶・全体説明（13:00～13:15）

会場：A2棟1階（A2-101室）

- 概要紹介 人間・ロボット共生分野 分野リーダー 情報・知能工学系教授 三浦 純

◆研究室公開（13:15～16:00）

会場：学内11研究室（機械工学系、情報・知能工学系、次世代半導体・センサ科学研究所）
ロボコン同好会

◆申込方法

以下のオープンラボ2024のページから申込みをお願いいたします。

<https://robot.tut.ac.jp/openlab2024.html>

申込期限：2024年9月16日（月）

※ただし、締切り後も可能な限り対応させていただきます。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・宮田

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509

豊橋技術科学大学 人間・ロボット共生分野
オープンラボ2024



豊橋技術科学大学 次世代半導体・センサ科学研究所 人間・ロボット共生分野
TUT IRES² Human-robot symbiosis research group

日時：2024年9月18日（水） 13:00～16:00

会場：豊橋技術科学大学

◆開会挨拶・全体説明（13:00～13:15）

会場：A2棟1階（A2-101）

- 概要紹介 人間・ロボット共生分野 分野リーダー 情報・知能工学系教授 三浦 純

◆研究室公開（13:15～16:00）

会場：学内11研究室（機械工学系，情報・知能工学系，次世代半導体・センサ科学研究所）

ロボコン同好会（NHKロボコン優勝ロボット等展示）

【申込方法】 右の二次元コードを読み取り、オープンラボのページからお申し込みください

<https://robot.tut.ac.jp/openlab2024.html>



【参加費】 無料

【問い合わせ】 豊橋技術科学大学 人間・ロボット共生リサーチ分野 事務担当（村井）

E-mail : [murai\[a\]aisl.cs.tut.ac.jp](mailto:murai[a]aisl.cs.tut.ac.jp)

【申込み期限】 2024年9月16日（月）

GO TO THE FUTURE OPEN CAMPUS

オープンキャンパス 高校生・高専生（受験生向けイベント）

2024.8.24(土)

事前
申込制



イベント内容（予定）



研究室公開



模擬授業



課程別説明会



学生宿舎公開

多くの研究室・施設を一挙公開!!

CAMPUS TOUR

キャンパスツアー（高校生・高専生（受験生向けミニオープンキャンパス））

3月実施予定

現地開催

■詳細はお問い合わせください。

総務課広報係

☎ 0532-44-6506 ☎ kouho@office.tut.ac.jp

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、各イベントの内容変更
または中止となることがあります。
※写真はイメージです。